

永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
 令和7年4月発行・第216号  
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
 TEL:0952-31-6877



❀ 4月～6月の予定 ❀

※4月の支援の予約は4/14(月)の9時半から  
 受付けます。

月	日	曜	実施グループ名
4	2	水	東与賀よかよかサークル
	16	水	高木瀬赤ちゃんサロン
	22	火	フリーデー
	23	水	フリーデー
	30	水	小さなお子様がいる家庭の防災講座
5	12	月	若楠にこにこサークル
	13	火	環境講座&アロマ虫よけスプレー作り
	20	火	じゃがいも掘り体験
	22	木	じゃがいも掘り体験
	26	月	フリーデー
	28	水	フリーデー
6	5	木	フリーデー
	6	金	フリーデー
	9	月	なかよし2歳(オリエンテーション)
	10	火	なかよし1歳(オリエンテーション)
	11	水	なかよし1歳(オリエンテーション)
	13	金	フリーデー
	16	月	フリーデー
	18	水	赤ちゃんの日(ベビーダンス)
26	木	高木瀬あいあいサークル	



### 「今年度の目標」

桜の花が次々に咲き、週末は花見で大賑わいでした。  
 いよいよ令和7年度がスタートしました。

こども園では、慣らし保育が始まり、あちらこちらから泣き声が聞こえています。泣き声がするところに足を運んでみると、進級した在園児さんもいて、環境の変化が及ぼす子どもの不安や情緒の変化に今更ながら気づかせてもらっているところです。子ども達が安心して通えるよう、職員一同心がけていきたいと思ひます。

さて、3月11日に新聞に掲載された第一生命の「大人になったらなりたいもの」調査結果を見て驚きました。ショック!! さえ感じました。小学校女子のなりたいものランキング10に保育者が圏外となっていました。結果は、1位パティシエ 2位会社員、3位漫画家、4位医師、5位歌手・アイドル 6位看護師、7位教師・美容師・ヘアメイクアーティスト 9位料理人・シェフとなっていました。

今年は、保育者の魅力をアピールできる企画を考えていかなければならないと痛感した次第です。ぽぽらの方にもアンケート等、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度もぽぽらのご利用共々、色々なご意見も寄せて下さいますよう宜しくお願い致します。

(三光保育園園長)

### 永原学園三光保育園 子育て支援事業について

- **赤ちゃん(0歳)の日**… 月の初めに電話で予約。年8回実施。親子で登園し、一緒に楽しみます。
- **なかよし1歳、なかよし2歳 (登録制)**  
 4/14(月) 13時30分から電話にて申し込みを受け付けます。  
 月に1回(年8回)親子で登園し、一緒に楽しみます。
- **フリーデー**… 月1～4回実施。予約は不要です。
- **シニアサロン**… 月1回実施  
 地域の方々に「さんこうぽぽら」におこしいただき、集いの場として楽しいひと時を過ごします。
- **その他**  
 ☆じゃがいも掘り体験(5月) ☆親子クッキング(8月)  
 ☆リフレッシュ講座 ☆防災講座  
 ☆さつまいも掘り体験(10月) ☆食育講座  
 ☆育児講座 ☆食育相談(要申込)  
 ☆環境講座 ☆育児相談(随時)  
 ☆ベビーマッサージ講座

※詳しくは「さんこうぽぽら」のHPに記載しております。

### ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

開園日: 月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

時間: 9:00～12:30

※園行事の為、ご利用できない場合があります

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります

12:30～13:30 昼休み・準備のため閉園

13:30～16:00 ご利用の場合は要電話予約

### 「シニアサロン」10時～12時

- 4月21日(月):
  - ・こいのぼり製作
  - ・新茶を味わいましょう。
- 6月19日(木):
  - ・健康体操(理学療法士さん)

- 5月29日(木):
  - ・花の苗を植えましょう
  - ・保育園たんぽぽ組さんとの交流
  - ・パワーアップ講座



## 「自分で奏でる幸せ」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 中島 加奈

3月某日、佐賀で今話題の映画を観に行きました。“年齢・独学・のり漁業との両立”というハンデを乗り越え、限りある時間の中でピアノ演奏の完成を目指した姿に励まされました。と同時に、のりが出来上がる過程にもいたく感動。同じ川副町出身の私にとっては「昔仲良かった〇〇ちゃんちは、こんな大変なお仕事をしてたんだなあ」という新たな発見もありました。

さあ、新年度です。これを読んでいる方の中には、新たな習い事を検討している方も多いことでしょう。保護者世代の習い事といえば習字、水泳、ピアノあたりが王道でしたが、最近は情報誌を見ていると、プログラミングやダンスなどバリエーションが増えたなと感じます。それぞれの興味・関心に応じて選択肢が増えたのはありがたいことです。その一方で、ピアノ教師のひとりとしては、少々寂しさがよぎることも…。

ベネッセコーポレーションの調査によると、習い事としてのピアノ人気は今も上位を占めているようですが、私自身ここ数年、ピアノ経験者が減っていることを肌で感じています。保育者養成校においても、初心者の入学生は少なくありません。中学校でおなじみ合唱コンクールでも、「伴奏できる生徒がない」という話を聞くこともあります。ピアノは家庭での練習につきもので、物的な環境も必要なため、色々な意味でハードルが高いのかもしれない。様々なメディアが溢れる中、必ずしも生演奏でなくてはならない場面も減っているのでしょうか…。

ここで思い出すのは、冒頭で述べたのり漁師さんの「おいも弾きたかあ…!」という心の叫び。そう、やっぱり“自分で”弾くっていう所がいいんです。彼にとって“自分の手で奏でた”ということが何物にも代えがたい喜びで、生きている証だったのではないのでしょうか。

楽器の演奏では、眼も耳もフル活用します。さらにピアノでは10本的手指や足を一度に動かします。脳の様々な分野が活性化されるため、楽器の中でもピアノは特に、全身の感覚を一度に統合しているといっても過言ではないでしょう。「脳トレ」の一環で習うご年配もいる中、柔軟な感性を持つ幼少期のうちに始めると効果は倍増です。さらに、好きな作品を弾けた充実感や、自分の近い人と演奏を通して交流したり気持ちを分かち合えたりするのも、音楽の醍醐味です。小さいうちにそういう喜びを味わってほしい。血の通った音楽にこそ、価値を感じてほしい。そんな願いも込めて、保育士のタマゴ達にピアノを教えています。

習い事を選ぶ際の一助になれば幸いです。